

2024年度 第4回保土ヶ谷区障害者自立支援協議会(防災部会事務局)次第	
日時	2024年10月9日(水) 16:00-17:30
開催場所	地域活動ホームゆめ 食堂・ボランティアルーム
出席者	9名
欠席者	1名
開催形態	公開(傍聴人: 名)・ 非公開
議 事	<p>① 「被災地障害者センター横浜ほ도가や 開設訓練」の振り返り 【シミュレーション訓練から挙げた課題・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SOS チラシについて:当事者団体が事前配布することも可能だが失くしてしまうかも。 ・防災拠点まで避難できない当事者も多いのでは。SOS チラシの内容を拠点の目立つところに大きく貼り出したりすると、拠点に避難してきた人たち伝いで周知しやすいかもしれない。→可能かの判断は各防災拠点に委ねられている。 ・センターが開設されたことの周知方法についても検討が必要。 ・センター開設後、誰が関係者か分からなくなってしまうのでは。→ビブスを購入予定だが、身分を証明することが難しいので訪問時に警戒されてしまう可能性あり。 <p>★日頃から地域のイベントや防災会議などに参加するなかで、センターの存在を周知していけるとよい。</p> <p>② 課題の解決について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターをどのような方法で周知していくか? ・SOS チラシの配布について <p>→上記2つの課題と解決方法について次回の部会でグループワークをするのはどうか? または、実働班、情報班、本部に分かれて課題と解決方法をグループワークする方がよいか?</p> <p>③ 開設訓練のマニュアルと開設・運営マニュアルについて</p> <p>→今回、シミュレーション訓練をしてマニュアルの改訂が必要な事がわかった。 本部、実働班、情報班の明確なマニュアルが必要。</p> <p>11月の部会ではグループワーク 12月の部会ではグループワークをもとにマニュアルを周知する。</p> <p>以下、会議録</p> <p>① 事務局内での振り返り 【気づき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にボランティアルームを利用してみると、導線などのイメージはつきやすかった。 ・それぞれの班の動きが分かるように用紙を準備しておくともよいかも。(「受付」「実働班」など大きく印刷したもの) ・黄色と緑色のバンダナは各防災拠点に置いてあるはず。利用できると良い。 ・防災拠点に SOS チラシの内容を大きく貼り出すというアイデアはよいと感じた。明記する内容は精査が必要そう。→福祉施設では提示可能かと思われるが、そのほかの防災拠点ではどうか分からない。次回の会議までに、区・市川係長に確認していただく。 ・マニュアル内に、それぞれの班の担当者が明記されると良い。(改訂済) ・各班で分かれたあとの具体的な動きが実際にはないとイメージが付きづらいと感じた。 <p>【課題】</p>

- ・ビブスなど備品の用意、保管場所（ゆめ？トリアージのためのリストバンドは事務室の施設長席後ろに保管してある）
- ・集合した会員の各班への人数配分、誰が何をするかとのマッチング
- ・センターの存在を周知することは必要。（例・地域防災拠点調整会議への参加、防災拠点の連絡会への顔出し等）
- ・事務局メンバー内の連絡手段
→LINE のオープンチャット機能が利用できると良いか。

② 次回の取り組み

- ・それぞれ本部、実働班、情報班に分かれてグループワークを実施。
- 9月のシミュレーション会議に参加したメンバーがリーダーとなる。（本部：誉田氏、島田氏 実働班：吉田昌氏、吉田順氏 情報班：遠藤氏、戸村氏、朝倉）
- 課題や必要な点などの洗い出しを行う。SOS 受付票、ボランティア登録名簿などの書式の活用方法についても検討できると良い。

- ・LINE オープンチャットについて
まずは事務局メンバーで試用してみる。

※次回の全体会はグループワーク実施のため、①出欠席 ②グループワークで参加したい班の希望を事前に伺う。（Google form で出欠確認、集約は基幹で実施）

次回の日程

防災部会（全体） 令和6年11月13日（水）16:00～17:30/ゆめボランティアルーム

防災部会（事務局） 令和6年12月11日（水）16:00～17:30/ゆめボランティアルーム

--	--